

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公開番号】特開2009-22672(P2009-22672A)

【公開日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2007-191304(P2007-191304)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

H 0 5 G 1/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 2 0 M

H 0 5 G 1/24

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月20日(2010.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

商用の交流電源を直流に変換する整流回路と、この整流回路からの直流電力を蓄積する電力蓄積手段と、この電力蓄積手段からの直流電力を交流電力に変換するインバータ回路と、このインバータ回路からの交流電力を高圧の直流電力に変換する高電圧発生装置と、この高電圧発生装置からの直流高電圧が印加されるX線管球と、を備えるエネルギー蓄積型の医用X線高電圧装置であって、

前記X線管球から照射されるX線を制御するための制御信号を前記インバータ回路に出力するX線制御手段と、

X線撮影の条件を設定すると共に、設定された撮影条件を前記X線制御手段に出力するX線条件設定手段と、

前記電力蓄積手段の充電量を検出するための充電量検出手段と、

前記充電量検出手段から出力される検出信号に基づいて撮影の可否についての判定をおこなう判定手段と、

前記判定手段からの判定結果を判定情報として報知するための判定報知手段と、を備えることを特徴とする医用X線高電圧装置。

【請求項2】

前記判定手段は、前記X線条件設定手段によって設定されたX線撮影の条件での撮影の可否について判定することを特徴とする請求項1に記載の医用X線高電圧装置。

【請求項3】

前記判定手段は、前記充電量検出手段によって検出される充電量で撮影が可能となるX線撮影の条件を判定することを特徴とする請求項1に記載の医用X線高電圧装置。

【請求項4】

前記判定報知手段は、視覚又は聴覚の少なくとも的一方で感知できる判定情報を報知することを特徴とする請求項1乃至3の何れか一項に記載の医用X線高電圧装置。